

大分県における飼料用米品種の選定と栽培法の確立

第1報 品種選定

○菊屋良幸・江川寛子・近乗偉夫・清水康弘¹⁾・安井利昭²⁾・長谷川航³⁾

(大分農林水産研指水田・¹⁾大分県研究普及課・²⁾大分県南部振興局・³⁾大分県集落・水田対策室)

【目的】

近年、飼料用トウモロコシ代替の国産飼料として飼料用米が注目され、農業者戸別所得補償制度の導入に伴って、その生産・利用が急速に拡大している。しかし、大分県に適する品種の選定や実需の求める高品質・安定生産が可能な栽培技術の確立に至っていない。そこで本研究では、品種選定と栽培法の検討を行った。本報では有望品種「ホシアオバ」の選定経過について報告する。

【材料および方法】

試験実施場所は平坦地（当グループ内圃場・宇佐市、標高 8m）および高標高地（旧久住試験地内圃場・竹田市久住町、標高 544m）で、09～11年（高標高地は 09 年のみ）に試験を実施した。

平坦地では「ホシアオバ」、「クサホナミ」、「まきみずほ」、「モミロマン」、「モグモグあおば」を3ヶ年（「クサホナミ」は 09, 11 年、「モグモグあおば」は 09, 10 年）、高標高地では「ホシアオバ」、「モグモグあおば」、「クサホナミ」、「北陸 193 号」、「モミロマン」を供試した。

平坦地では早植（6月中旬）、標準植（6月下旬）の2作期を、高標高地では標準植（5/7）の1作期を設けた。栽植密度は坪 73 株（30cm × 15cm）で1株4本の手植を行い、窒素施肥量は基肥 0.6kg/a、穂肥 0.3kg/a、晩期穂肥 0.4kg/a（09 年のみ 0.2kg/a）とした。

【結果および考察】

高標高地では、「クサホナミ」、「ホシアオバ」、

「北陸 193 号」の収量が高かった。ただし、「クサホナミ」は耐倒伏性が劣り、北陸 193 号は種子休眠が深く育苗に難があることから、「ホシアオバ」が有望と判断された。

平坦地では、両作期を通して「ホシアオバ」、「まきみずほ」、「モミロマン」の収量が高かった。「クサホナミ」と「モグモグあおば」は標準植で収量が低下する傾向がみられた。「モミロマン」と「モグモグあおば」は標準植では試験期間中に成熟期に達しない事例があった。「クサホナミ」と「モミロマン」は稈長が指標並で、供試期間中に倒伏は発生しなかった。「ホシアオバ」は標準植で1ヶ年だけ部分的な滞水が原因と思われる倒伏が発生した。「モグモグあおば」と「まきみずほ」は両作期とも微～小程度の倒伏が発生した。脱粒性は「クサホナミ」（中～やや難）を除いていずれの品種も難であった。穂発芽性は「ホシアオバ」と「モグモグあおば」が易、「まきみずほ」がやや易、「モミロマン」が中、「クサホナミ」がやや難であった。試験年、作期を通じて目立った病害虫の被害はいずれの品種にも確認されなかった。以上のことから、平坦地では熟期が適当で収量が安定して高く、耐倒伏性に優れる「ホシアオバ」が有望と判断された。

これらの結果から、大分県では高標高地、平坦地で作付可能で収量性等に優れる「ホシアオバ」が飼料用米品種として推奨しうる品種であると考えられた。

表 作期別にみた各品種の成熟期生育及び収量

試験地	品種・系統名	早植							標準植						
		稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	出穂期 月/日	成熟期 月/日	精粒重 kg/a	倒伏程度 0-5	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	出穂期 月/日	成熟期 月/日	精粒重 kg/10a	倒伏程度 0-5
平坦地	ホシアオバ	106	21.2	285	8/20	10/8	93.1	0	98	21.6	279	8/26	10/21	91.8	0.8
	クサホナミ	95	19.5	256	8/27	10/10	98.9	0	87	19.4	232	8/3	10/19	88.6	0
	モミロマン	89	23.7	267	8/27	10/24	96.6	0	86	23.0	270	9/2	-	93.9	0
	モグモグあおば	109	21.5	274	8/28	10/30	98.2	1.5	98	21.2	232	9/2	-	89.7	1.8
	まきみずほ	109	21.5	238	8/23	10/10	92.4	0.5	106	22.5	247	8/25	10/23	94.8	0.8
	ヒノヒカリ(指標)	94	19.1	412	8/24	10/3	76.4	1.2	88	18.9	399	8/25	10/13	74.8	1.7
高標高地	ホシアオバ	-	-	-	-	-	-	-	98	20.6	327	8/6	9/27	124.1	0
	モグモグあおば	-	-	-	-	-	-	-	99	16.7	326	8/11	10/1	111.1	0
	クサホナミ	-	-	-	-	-	-	-	99	20.3	339	8/20	-	127.8	4.5
	北陸193号	-	-	-	-	-	-	-	80	27.9	351	8/11	10/7	124.1	0
	モミロマン	-	-	-	-	-	-	-	87	22.0	348	8/11	-	32.8	0
	ヒノヒカリ(指標)	-	-	-	-	-	-	-	80	19.6	548	8/17	10/10	99.0	3

注1) 成熟期中の「-」は試験期間中に成熟期に達しなかった事例があることを表す。

2) 精粒重は水分含量14.5%換算した値を表す。

3) 倒伏程度は無・微・少・中・多・甚の6段階を0～5の数字で表す。